

令和4年度一般会計当初予算編成における財源不足の解消について

1 財源不足の状況

中期財政見通しを改定した8月時点では、財政調整基金15億円を活用してもなお約73億円の財源不足が生じましたが、予算編成方針示達後、各部局の要求内容の精査により、予算要求の11月時点では、58.1億円の財源不足が生じました。

(令和3年11月12日時点) (億円)

歳入(※)	歳出	財源不足
1,614.2	1,672.3	58.1

※財政調整基金15億円含む

2 財源不足解消への対応策

(1) 歳出縮減策(主な事業は次ページに掲載)

要求事業費の見直し及び精査等のほか、国の補正予算による国庫支出金の活用による令和3年度2月補正予算への前倒しなどにより、58.6億円(一般財源35.1億円)の縮減を図りました。

(億円)

	歳出縮減額	うち一般財源
① 事業の見直し・先送りによる縮減	11.2	7.5
② 2月補正への前倒し実施	23.0	6.7
③ 要求の精査による縮減	24.4	20.9
合計	58.6	(A) 35.1

(2) 歳入確保(財源対策)

歳出事業に合わせて市債等の特定財源の活用を図るとともに、市税収入見込の時点修正及び国の地方財政計画の見込等により、23億円の財源対策を図りました。

なお、財政調整基金については、30億円を取り崩すこととし、令和4年度末残高は、約93億円を確保できる見込みです。

(億円)

	予算要求 時点	予算案	差額	要因
市税	800.7	811.0	10.3	見込の時点修正による
地方消費税交付金	115.0	102.5	△12.5	地方財政計画等による
地方創生臨時交付金	0.0	3.8	3.8	交付決定による
市町村振興資金貸付金	0.0	3.7	3.7	地方債充当残額に充当
財政調整基金	15.0	30.0	15.0	
その他歳入	30.3	33.0	2.7	地方財政計画等による
合計	961.0	984.0	(B) 23.0	

財源不足額58.1億円は、歳出縮減(A)及び歳入確保(B)により解消し、収支均衡した予算を編成することができました。

以上

(事務担当 財務部財政課)

<歳出縮減策の主な事業> ※金額は事業費

① 事業の見直し・先送りによる縮減

- ・ (市民センター整備費) △1.7億円
市民センターのエレベーター及び空調更新工事の先送り
- ・ (諸整備費事業費(小・中)) △1.2億円
小・中学校における各改修工事の先送り
- ・ (藤沢駅周辺地区再整備事業費) △1.1億円
藤沢駅北口南北線道路整備事業に係る用地購入等の先送り
- ・ (学校施設環境整備事業費(小・中)) △1.0億円
小・中学校における空調リースの先送り
- ・ (スポーツ施設整備費) △1.0億円
秋葉台文化体育館及び秩父宮記念体育館に係る改修工事の先送り

② 2月補正への前倒し実施

- ・ (学校施設環境整備事業費(小・中)) △17.7億円
国の補正予算に伴う小・中学校における各改修工事等の前倒し
- ・ (遠藤葛原線新設事業費) △1.2億円
国の補正予算に伴う葛原第一工区道路築造工事の前倒し
- ・ (ふれあいセンター管理費) △1.1億円
ふれあいセンター解体工事の前倒し
- ・ (道路施設改修事業費) △0.8億円
湘南台駅エスカレーター改修工事等の前倒し
- ・ (公園改修費) △0.5億円
国の補正予算に伴う駒形公園他4公園遊具改修工事の前倒し

③ 要求の精査による縮減

- ・ (障がい児通所給付費等事業費) △1.1億円
直近の実績等に基づく見込みの精査による縮減
- ・ (障がい者等医療助成費) △0.7億円
直近の実績等に基づく見込みの精査による縮減
- ・ (給付型幼稚園事業費) △0.5億円
直近の実績等に基づく見込みの精査による縮減